

健康・医療のまちづくりを目指して

グラフで見る吹田市の医療費の動向

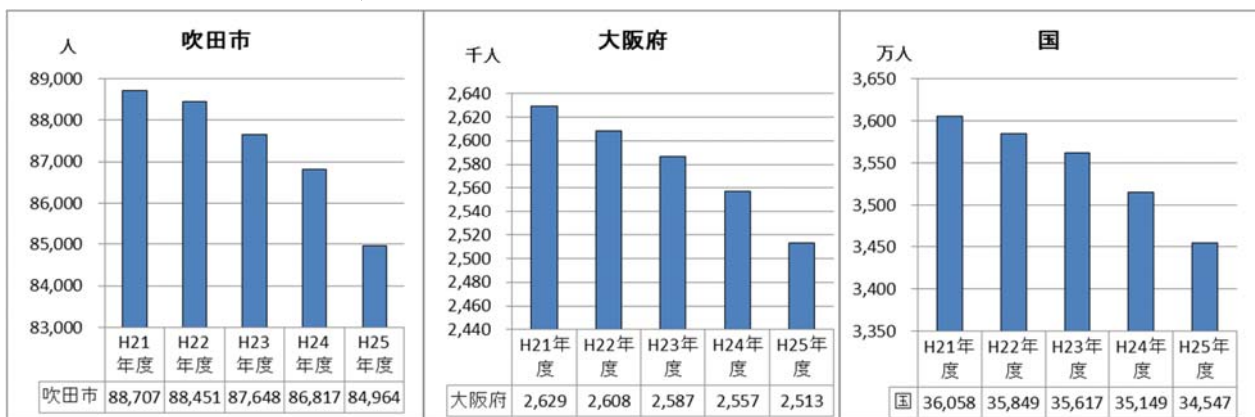
吹田市福祉保健部国民健康保険室

平成27年6月2日

1

1-1 医療費の推移(平成21年度～平成25年度)

● 被保険者数

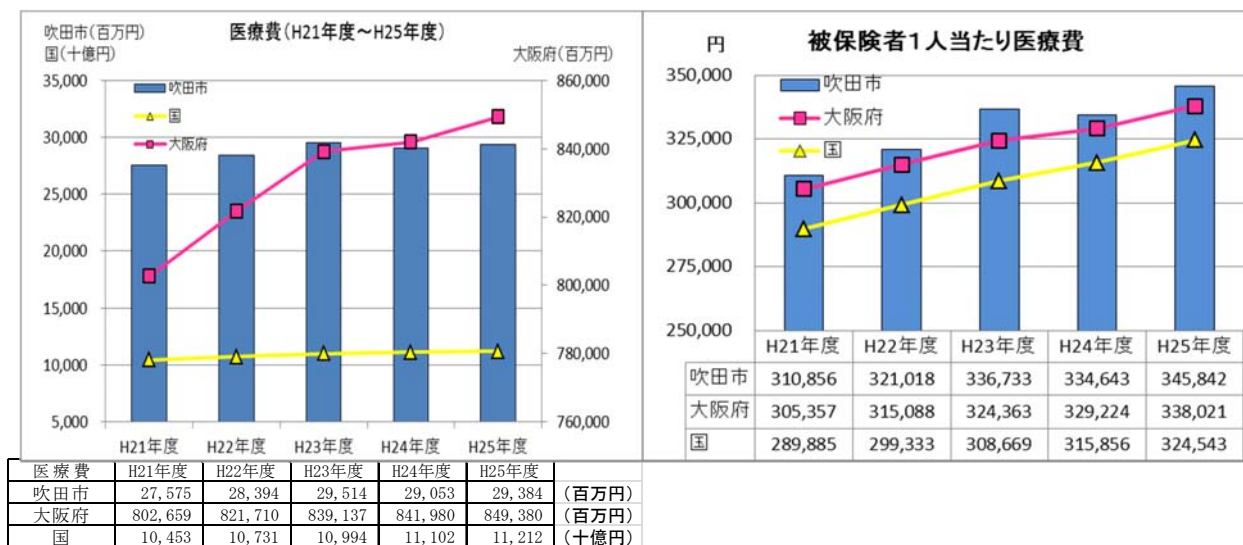


被保険者数は、減少傾向

- 団塊世代の定年が落ち着いてきている
- 社会保険等への加入者増（景気回復の兆候？）

1-2 医療費の推移(平成21年度～平成25年度)

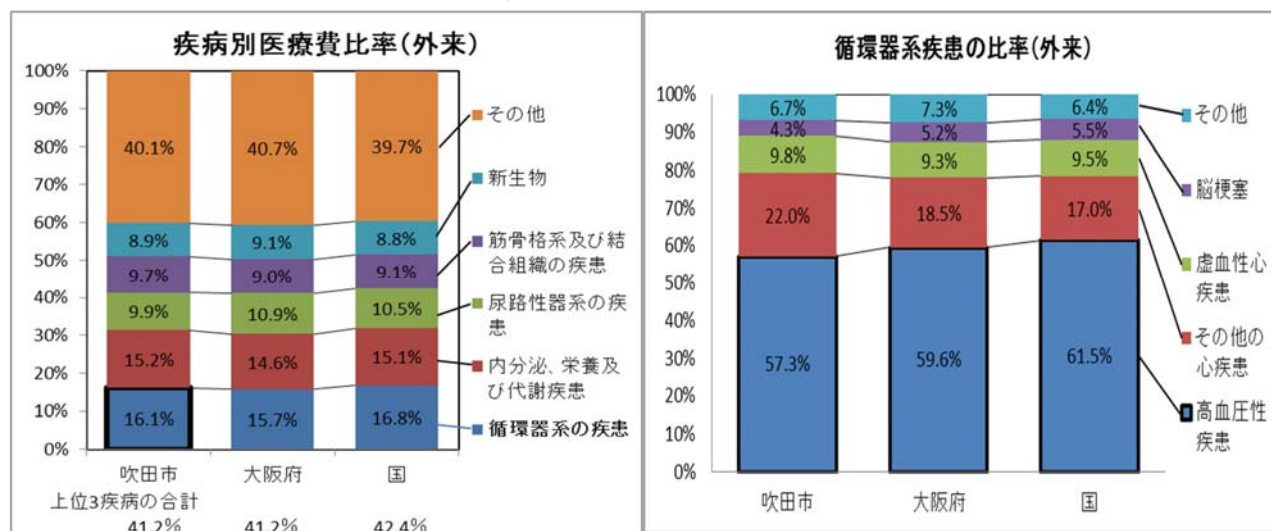
● 医療費と被保険者1人当たりの医療費



→被保険者数は減少しているが、医療費は毎年増加傾向
 →1人当たりの医療費も毎年増加傾向

参考：国民健康保険事業年報、大阪府国民健康保険事業状況、吹田市の国民健康保険 3

2-1 疾病別医療費の比率(外来)(平成25年度)

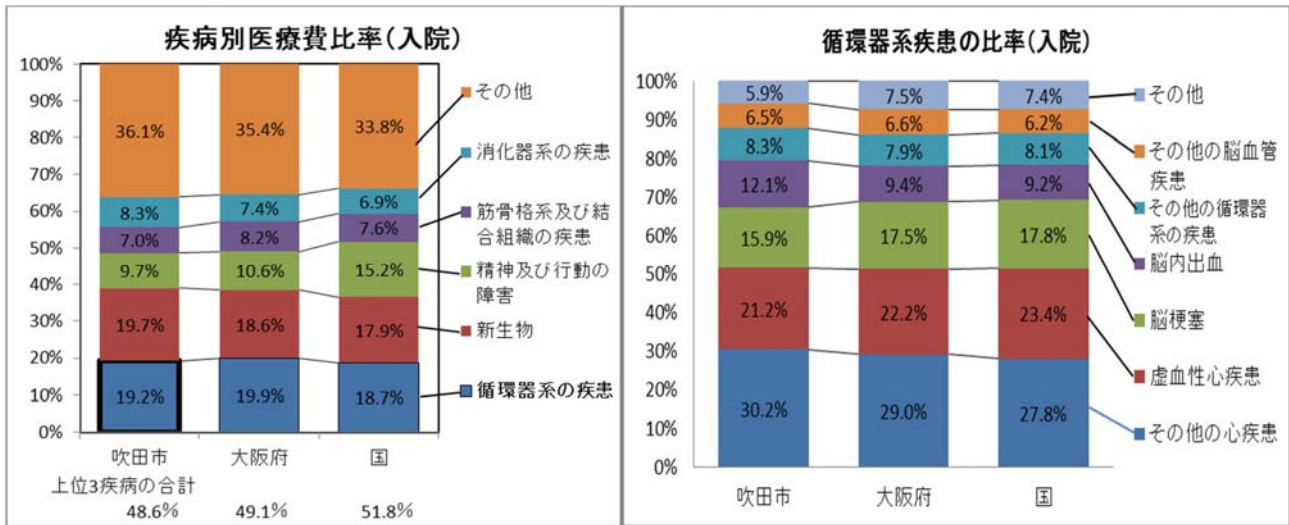


「循環器系」「内分泌、栄養及び代謝系」「尿路性器系」疾患で4割以上を占める

循環器系の疾患のうち半数以上が高血圧性の疾患となっている

→→慢性疾患が多くなると継続的に薬剤投与等医療費にかかる

2-2 疾病別医療費の比率(入院)(平成25年度)



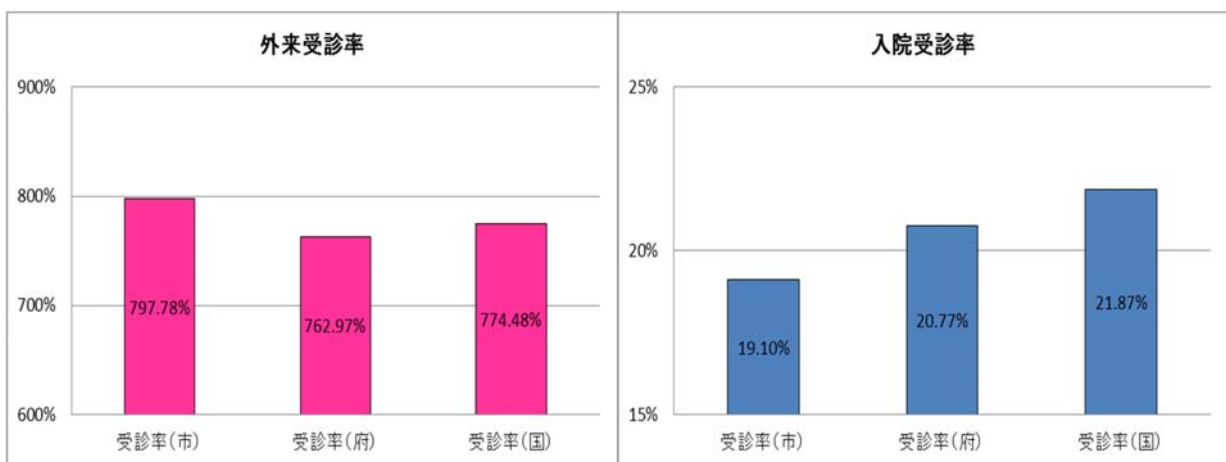
「循環器系の疾患」「新生物」で約4割を占める

→→早期発見・早期治療が医療費適正化には有効

参考：KDBシステム 5

3-1 受診率(平成25年度)

受診率 = 年間レセプト件数 / 被保険者数

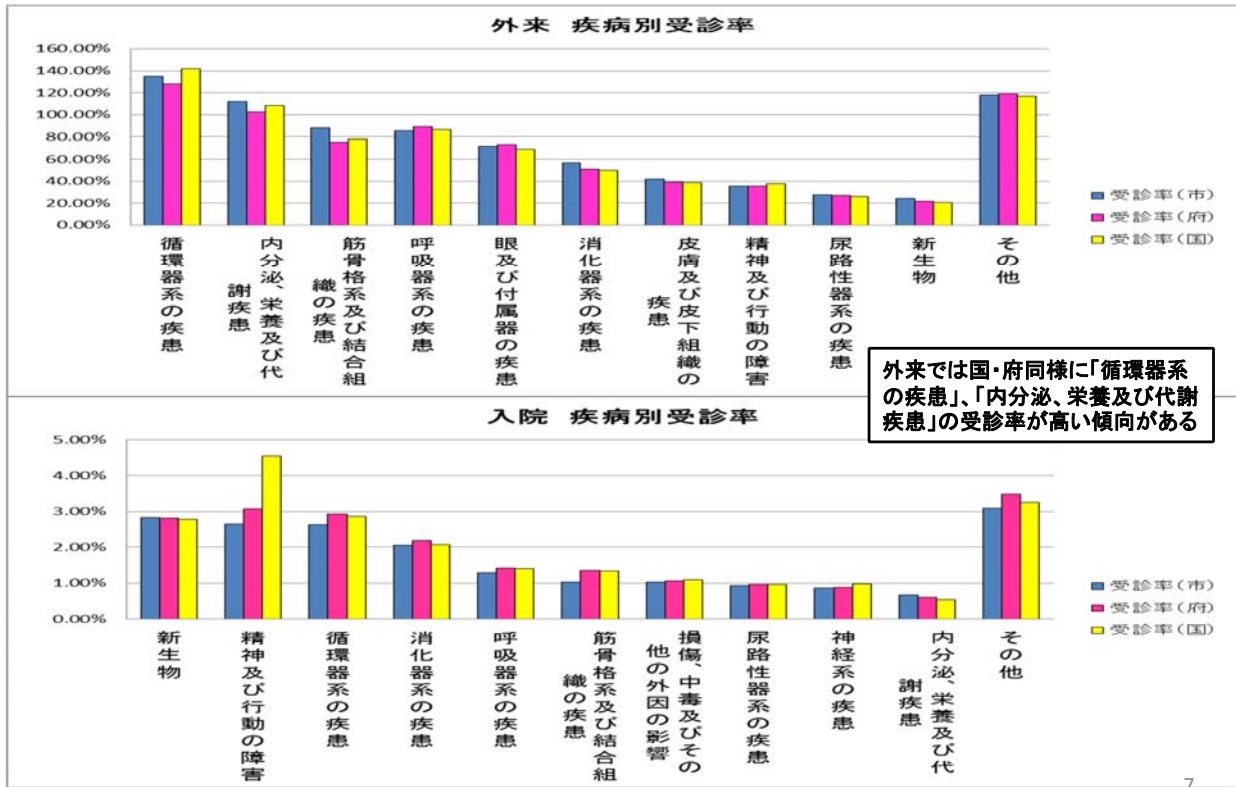


吹田市では外来受診率が高い

入院受診率が低い

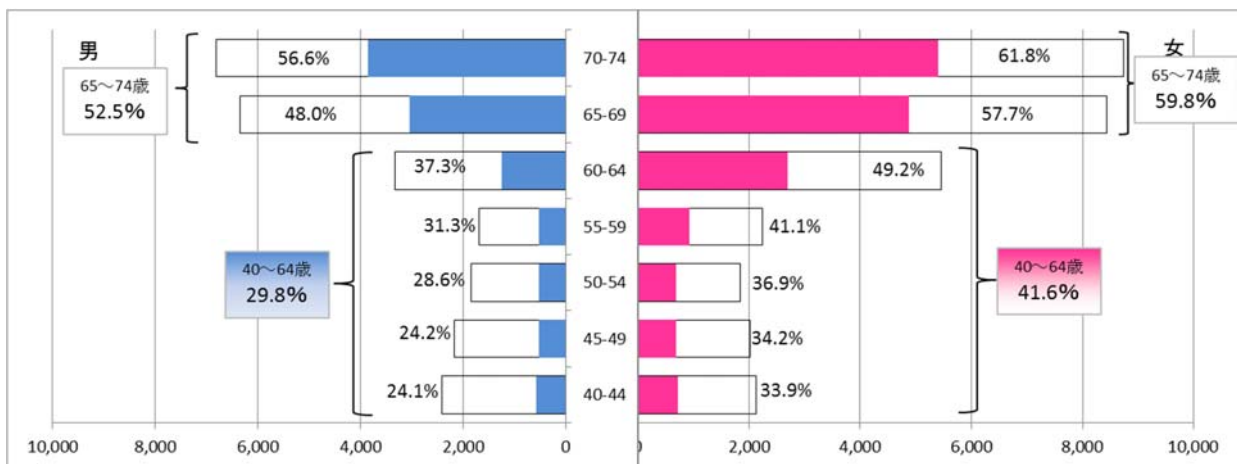
参考：KDBシステム

3-2 疾病別受診率(平成25年度)



参考:KDBシステム

4-1 吹田市国保健診受診率(平成25年度)



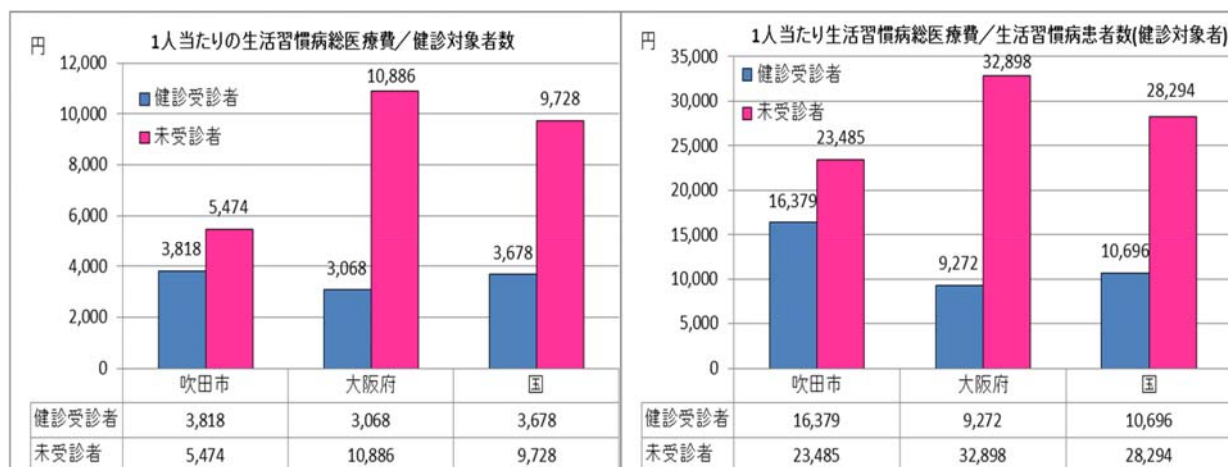
65歳～74歳の受診率 男52.5% 女59.8%

40歳～64歳の受診率 男29.8% 女41.6%

→→現役世代の受診率の向上が課題

参考:法定報告(速報値)

4-2 特定健診受診者と未受診者（平成25年度） 生活習慣病等1人当たり医療費の比較



吹田市では、国・府と同様に特定健診の受診者は未受診者に比べ医療費が低い

→→健診受診の有効性

参考：KDBシステム 9

5 まとめ

・疾病別医療費(外来)では、国・府と同様に循環器系の疾患や、内分泌、栄養及び代謝疾患（脂質異常症、糖尿病等）の割合が高い。（資料2-1）

➡ 慢性化すると、通院・投薬など医療費が継続的にかかるようになるため、疾患リスクを下げるために生活習慣を改善していくことが必要。

・吹田市では、国・府と比べて外来受診率が高く、入院受診率が低い。（資料3-1）

➡ 要因の分析を進め、効果的な対策を講じることが課題。

・吹田市では、国・府と同様に特定健診の受診者は、未受診者に比べて医療費が低い。（資料4-2）

➡ 特定健診は、将来の医療費適正化や市民の健康づくりに有効。
特定健診の受診促進が必要。